参考資料３－１

新京都戦略について

■概要

・　京都基本構想の理念を反映・具体化する分野横断のアクションプラン。令和６(2024)年度から令和９(2027)年度までに取り組む京都市の政策を取りまとめた中期計画として策定（令和７(2025)年３月策定、令和８(2026)年３月改定)。

・　「すべての人に『居場所』と『出番』がある『突き抜ける世界都市 京都』」の実現に向けた先導的な取組をリーディングプロジェクトとして位置付けている。

（大学政策に関連する主な内容）

Ⅶ　リーディングプロジェクト

２ きわめる（P.30）

⑨ まち中に「学藝」があふれるプロジェクト

○　学問、学びだけでなく、芸術・技芸があふれる唯一のまちを目指し、歴史、文化、大学の知が集積する京都のまちの強みを活かし、京都ならではの市立・府立高校の連携、高大連携等により、探究型学習、STEAM 教育、英語教育、演劇教育を実践、アントレプレナーシップ（起業家精神）を醸成。京都のまちを舞台に、次代を担う子どもたちの「生きる力」と「創造的な発想力」を養い、グローバルに活躍できる人材を育成。さらには、突き抜けた人材が学校教育で幅広く活躍できる場を創出するとともに、京都のまちづくりにも寄与する市立高校の魅力を向上。

○　京都の多彩な学藝を取り巻く人のつながりや、生活の中に伝統と文化が息づくまちの強みを活かし、感性豊かな子どもの頃から、能・狂言などの伝統芸能、映画文化、食文化、豊かな自然、ものづくりなど京都ならではの多様な体験を得ることができる環境を整備。京都の学藝を支え、継承・創造していく次世代の「担い手・支え手」の資質を育成。

○　大学・学生が京都のまち全体をキャンパスに学びを深め、その力を地域活性化や社会課題解決に。学生の出会いと交流を通じた京都への愛着の醸成、府と連携した奨学金返済支援の充実等により、市内就職・定住の促進、京都との関係の構築により、将来的な京都への定着を促進。

政策集（P.9-10）

３　京都の伝統・知恵・イノベーションの力により「都市の活力と成長を支える産業が育つまち」

⑸　大学のまち・京都の強みを活かした都市の活力の創出

①　相談窓口の設置や日本語・日本文化を学ぶことができる拠点の充実【R８】など、海外の研究者や留学生等が、京都に来て、安心・快適に暮らし、活動できる環境づくり

② まち全体をキャンパスに国内外の大学・学生と地域、学校、企業等が連携した地域活性化や社会課題解決に向けた取組の推進

③ 多様な主体と連携した学生への支援などによる、学生の京都への愛着醸成と市内定住の促進